

# 水素ステーション概論および運営訓練研修開催のご案内

## 1. 主 旨

今年度も、HySUT水素技術センター（山梨県甲府市）にて「水素ステーション概論および運営訓練研修」を開催する運びとなりましたので、ご案内いたします。

2日間のコースで、水素・高圧ガスなどに関する基礎知識、水素ステーションの運営・保安管理および非常時対応等に関する一連の作業を習得して頂ける内容となっております。

皆様ふるってご参加頂きますようお願い申し上げます。

## 2. 日 時 2024年9月12日（木）～9月13日（金）

開催時間 / 初日 11:00～17:00

2日目 9:30～16:30

## 3. プログラム概要 ※変更となる場合がございます。

### ・1日目 スケジュール

時間	内容
11:00～12:00	オリエンテーション、高圧ガス、水素特性に関する講習
12:00～13:00	休憩（昼食）
13:00～14:30	水素ステーション/関連設備の概要説明
14:30～14:45	休憩
14:45～17:00	自主ガイドライン、関連法規に関する講習、保安・防災設備説明

### ・2日目 スケジュール

時間	内容
9:30～12:00	運転・設備管理、点検作業に関する講習
12:00～13:00	休憩（昼食）
13:00～14:30	事故・トラブル事例紹介およびトラブル時対応訓練
14:30～14:45	休憩
14:45～16:00	防災訓練
16:00～16:30	修了確認、まとめ

## 4. 会 場 水素技術センター（HTC）

山梨県甲府市下向山町3157 Tel 055-236-9236

## 5. 受講料

HySUT会員 50,000円/人 (テキスト代込み・税抜き)  
一般 (非会員) 70,000円/人 (テキスト代込み・税抜き)  
(HTCまでの交通費負担ならびに宿泊は参加者にて手配・負担となります)

## 6. 参加申込

### (1) 申込方法

別紙『受講申込書』により、電子メールにて以下までお申込下さい。

一般社団法人水素供給利用技術協会

メールアドレス : xxxxx@hysut.or.jp (「xxxxx」の部分を「hysut」に変更して送信)

### (2) 申込締切日 ※ただし、定員になり次第締め切ります。

**2024年8月20日 (火) 17時**

### (3) お支払い

お申込まいただき次第、受講料の請求書を送付いたしますので、研修開始日5日前までにお振り込み願います。(送金手数料はご負担願います。) 尚、ご入金後はメールにてご連絡をお願いいたします。

## 7. 問い合わせ先

一般社団法人水素供給利用技術協会 研修部 (担当: 阿部) へお問い合わせ下さい。

メールアドレス : xxxxx@hysut.or.jp (「xxxxx」の部分を「hysut」に変更して送信)

## 8. 個人情報の保護について

参加申込書に記載されている個人情報は研修実施の管理目的のみに、一般社団法人水素供給利用技術協会が使用します。

## 9. 当日の服装、持ち物について

動きやすい服装で、筆記用具をご持参下さい。

## 10. その他(注意事項)

周辺に飲食店、コンビニはございませんので、昼食、飲料等をご持参されることを推奨いたします。

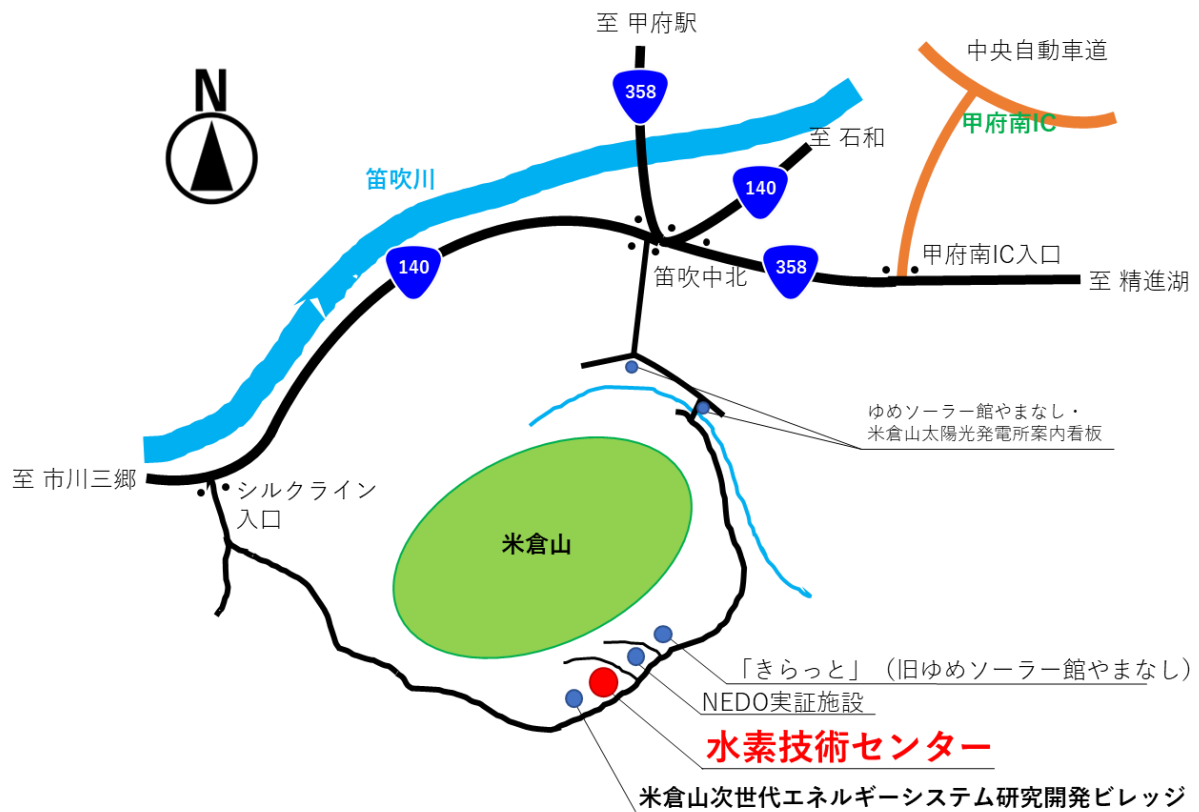
## 11. カリキュラム

次頁にカリキュラムの詳細を記載しました。なお、研修の時間の都合により、カリキュラム内の重要なポイントを中心に座学および現場実習を行います。

# カリキュラム

科目	内容		
	座学	現場実習	
基礎知識	一般高圧ガス	高圧ガスの基礎知識、高圧ガスの分類、高圧ガスの定義、高圧ガスについての規則	
	水素	水素とは、水素エネルギー技術の全体像、水素製造技術、水素輸送・貯蔵技術、水素利用技術	
	水素ステーション概要	構成と特徴、安全対策、課題	
		普及状況と今後の整備計画、水素ステーション設備使用材料	
	水素ステーション関連設備	水素トレーラー、水素カードル、液化水素関連設備、水素製造装置、圧縮機、蓄圧器、フレクター、ディスベンサー	圧縮機、蓄圧器、ディスベンサー、保安設備等水素ステーション構成機器の機能と役割を理解する。
		ノズル、水素充填ホース、弁類、圧力計、温度計、流量計、制御、電気、通信機器	
	水素ステーション自主管理ガイドライン	充填ガイドライン、品質ガイドライン、計量ガイドライン、JPEC技術基準	充填性能試験車両を使用し充填性能確認検査の実習を行う。
水素インフラ関連法規	高圧ガス保安法（法体系、目的、高圧ガスの定義、用語の定義、事業所の分類、製造、貯蔵、消費、移動、販売、例示基準 等）		
FCVの知識	燃料電池とは、燃料電池の仕組み、燃料電池の用途、FCVとは、FCVの安全対策、水素充填方式		
運営・保安管理	安全設計・管理	安全設計、安全・信頼性管理、安全管理組織、保安規程、教育	
	保安・防災設備	ガス漏洩検知センサ、火災検知センサ、消火・散水機能、緊急停止スイッチ、車両衝突防止・緊急離脱カブラ、安全装置（安全弁 等）	保安・防災設備の実操作を体験するために、緊急停止スイッチ、散水機能等の保安・防災設備等の確認を行う。
		地震計、インターロック、アース、緊急遮断装置・逆流防止装置、電気設備の防爆構造、保安電力、流動拡散防止装置および障壁	
	水素ステーション運転管理	組織・基準類、保安管理項目と点検要領、FCVの誘導要領、充填操作、POS処理・監視盤監視要領、日常点検、月例点検	車両の誘導、車両容器情報の確認、充填ノズルの着脱、充填開始操作、監視盤監視、充填ライン脱圧、日常／月例点検作業、カードル受入・切離作業、蓄圧操作 他
	水素ステーション設備管理	基準類、設備の検査、設備の診断	設備交換・メンテ対応、（検査前を想定した）設備停止操作、（検査終了後を想定した）運転開始操作、検査時の対応、自主管理ガイドライン検査対応 他
水素ステーション事故／トラブル事例	事例紹介、事例の解析と対策、セーフティデータベース 他		
非常時対応訓練	トラブル時対応訓練	トラブル時対応訓練（座学編）、机上型シミュレーション訓練	トラブル時対応要素が多いFCV充填中の微量な水素漏えいを想定し、水素ステーション従業員による初期動作、情報伝達、漏えい箇所特定及び現場での応急措置など実践的な訓練を実施する。
	防災訓練	緊急時対応の知識、防災訓練（座学編）、机上型シミュレーション訓練	水素の大量漏えいや火災発生等重大事故を想定し、水素ステーション従業員による人の安全確保、初期対応、関係機関等への通報・出動要請、消防等公設機関への協力など実践的な訓練を実施する。

# 水素技術センター（HTC）の案内



## <所在地・電話番号>

〒400-1507

山梨県甲府市下向山町3157

TEL:055-236-9236

## <交通アクセス>

### ●電車の場合

JR 中央本線 甲府駅下車 甲府駅からタクシー30分

### ●車の場合

中央高速道路甲府南IC 出口から5分